

授業科目名	英語	教員名	本多 正敏	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
科目番号	KY0209	配当年次	2年後期		幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
授業形態	講義				こども音楽療育士	
単位数	2単位				情報処理士	
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	この科目では、小学校外国語活動・外国語科の授業実践に必要とされる英語の背景的知识及び英語の教え方・学び方に関する知識・技能を身につけるとともに、実践的な英語運用能力を高めることをねらいとします。小学校英語教育の導入背景・経緯、第二言語習得理論、コミュニケーション、異文化理解等に関する基礎的知識を深めながら、クラスルーム・イングリッシュの効果的な活用方法、「教材・教具」の選び方・活用方法・開発方法、そして、指導上の留意点等を考察するプロセスを通して、実践的な英語運用能力（特に、聞くこと及び話すこと）を磨いていきます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母語獲得/外国語習得の特徴とプロセスを理解し、指導に活かすことができる。</li> <li>2. インプットからアウトプットに至る第二言語習得のプロセスを理解することができる。</li> <li>3. 第二言語習得に関わる理論を踏まえた教授法を理解し、指導実践に活かすことができる。</li> <li>4. ことば（日英語）の形式・意味・機能等に関わる基礎的な事柄を理解することができる。</li> <li>5. 小学校英語教育における異文化理解の位置付けを理解することができる。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	<p>2020年度から小学校中学年を対象として「外国語活動」が必修化され、高学年では「外国語（英語）」が教科化されています。この授業では、小学校英語教育の導入背景と経緯、第二言語習得理論、コミュニケーション、異文化理解等に関する基礎的知識を身に付けながら、4技能5領域（「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」「読むこと」「書くこと」）の指導上の留意点を踏まえた学習活動を展開する際に求められる実践的な英語運用能力を高めていきます。</p> <p>この授業では、講義だけでなく、ペア/グループワークやマイクロ・ティーチング（先生役と生徒役に分かれて学習活動の展開方法を練習する機会）等のアクティブ・ラーニングを通して実践力を身に付けることを重視します。</p>					
履修条件・注意事項	特になし。					
授業計画	<p>第1回: 授業概要の説明（オリエンテーション）—授業概要・授業展開方法・評価方法の説明、過去の英語学習の振り返り等【授業目標1-5】</p> <p>第2回: 小学校における英語教育—導入の経緯、現状と展望—【授業目標1-5】 ・外国語活動・外国語科の導入の経緯/子どもの主体性を重視した学びとは何か/学習指導要領改訂の要点は何か</p> <p>第3回: 言語習得理論と関連領域【授業目標1-2】 ・母語獲得と言語習得の違いは何か/言語習得理論の外観/脳科学を含む関連領域からの示唆/コミュニケーション能力とは何か</p> <p>第4回: 基本的な外国語教授法【授業目標3】 ・全身反応法（TPR）/ナチュラル・アプローチ/コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング/タスク中心教授法/内容中心教授法</p> <p>第5回: 国際理解教育と英語教育【授業目標5】 ・国際理解教育（及び異文化理解）とは何か/国際理解教育を通して育成するものは何か</p> <p>第6回: クラスルーム・イングリッシュの活用（1）【授業目標2-5】 ・クラスルーム・イングリッシュとは何か/ことばの形式・意味・機能とは何か</p> <p>第7回: クラスルーム・イングリッシュの活用（2）【授業目標2-5】 ・クラスルーム・イングリッシュを用いる意義と留意点は何か【授業目標2-5】</p> <p>第8回: 中間のまとめ—求められる教員の資質—【授業目標1-5】</p> <p>第9回: 教材の使い方・選び方と開発方法（1）—音声言語素材を取り扱う際の注意点—【授業目標4】 ・日英語の音に関する違いは何か/チャンツとは何か/チャンツを利用する際の留意点は何か</p> <p>第10回: 教材の使い方・選び方と開発方法（2）—文字言語素材を取り扱う際の注意点—【授業目標4】 ・日英語の音と文字の体系の違いは何か/日英語の音と文字の体系の違いを踏まえた指導とその留意点は何か</p> <p>第11回: 教材の使い方・選び方と開発方法（3）—まとめ—【授業目標2-3】 ・教材を選定・準備したり、教具を作成・使用したりする際の留意点は何か</p> <p>第12回: 指導の基本と留意ポイント【授業目標1-4】</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声指導が特に重視されるのはなぜか／動機付けを高めるための工夫とは</li> </ul> <p>第13回: 文字指導のあり方(1)—文字指導の内容と留意点—【授業目標1-4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字指導の際に留意すべきことは何か</li> </ul> <p>第14回: 文字指導のあり方(2)—ボトム・アップ方式とトップ・ダウン方式—【授業目標1-4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む」活動におけるボトム・アップ方式とトップ・ダウン方式とは何か。</li> </ul> <p>第15回: 学期末のまとめ—授業全体の振り返りと補足—【授業目標1-5】</p> <p>定期試験: 試験期間中に実施</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各授業の最後に予習内容を伝達するため、予習用の配布資料等を事前に読んでおくこと。</li> <li>2. 予習用の配布資料等を事前に読み、予備知識や疑問点を整理した状態で授業に臨むこと。</li> </ol> <p>事後学習:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配布資料の内容を確認・復習するとともに、振り返りシートのコメントも読むこと。</li> <li>2. 授業で分からなかったことや疑問に思ったことを整理しておくこと。</li> <li>3. 重要項目(ポイント)をまとめて、ノートやルーズリーフに整理しておくこと。</li> </ol>
学生に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業回の振り返りシート(復習クイズを含む): 20%</li> </ul> <p>⇒前時の復習クイズや各授業での学びの振り返りを通して、学んだ知識・技能を整理するための課題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間レポート課題: 30%</li> </ul> <p>⇒授業内容を踏まえて、皆さんが目指したい小学校英語の教師像を整理するための課題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験: 50%</li> </ul> <p>⇒授業内容全体の理解度を確認するための試験(学習活動の展開案を含む)です。</p> <p>※なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する／授業の前後またはオフィスアワーで、口頭で行う等</li> </ul>
テキスト	基本的に、配布資料で授業を行います。
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金森 強編著(2024)『小学校英語科教育法—理論と実践』成美堂。</li> <li>・酒井 英樹(2024)『小学校の外国語活動・外国語科 基本の「き」』大修館書店。</li> <li>・白井 恭弘(2023)『英語教師のための第二言語習得論入門(改訂版)』大修館書店。</li> <li>・樋口 忠彦(2023)『最新 小学校英語内容論入門』研究社。</li> <li>・村野井 仁編著(2018)『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』大修館書店。</li> <li>・文部科学省(2018)『小学校学習指導要領(平成29年度告示) 解説外国語活動・外国語編』開隆堂出版。</li> </ul>
担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校英語教育で扱われる言語素材に積極的に触れたり、クラスルーム・イングリッシュを積極的に活用したりしながら、指導者の視点から英語を活用する感覚を磨いていきましょう。</li> <li>・ペア／グループワークを中心として授業を実施しますので、他者との交流を楽しみながら、小学校英語教師に求められる資質・能力を高めていきましょう。</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で指示します。</li> <li>・メールでも対応します。</li> </ul>
備考	特になし。